

京都教区

Kyo.Prot.N.52/2021

2021年8月22日 ㊥パウロ 大塚喜直

コロナ禍におけるミサ中止の際の京都教区の用語の方針

公開ミサ(Public Mass)と、非公開ミサ(Private Mass)の意味について、公開ミサとは、信徒が参加するミサ、非公開ミサとは、信徒が参加しないで、司祭が個人的に行うミサ、という考えかたです。

注:①主日のミサが「公開ミサ」で、週日のミサが「非公開ミサ」という意味では ありません。
主日でも、週日でも、ミサ中止の際は、上記の考えかたです。

②外部から不特定多数の信徒が参加しない「修道院」でのミサについては、ミサ中止期間でも、司祭はミサを行うことができます。以上のような方針をご理解ください。

* 京都教区ホームページ「みんなの部屋」でミサの動画配信をしております。
ご視聴ください。

* 京都教区 2021 青年のための黙想会(オンライン会議 ZOOM で行われます)

日時:10月2日(土) 15:00~16:30

講師:菅原 友明 神父(京都教区)

テーマ:「司祭・修道者の召命」

対象:青年男女(18歳~35歳 高校生参加不可) 参加費:無料

申し込み:信仰教育委員会 Eメール shinkoukyoikuiinkai@gmail.com

お名前・所属教会・メールアドレスをお送りください。

締め切り:9月30日(木)厳守

奈良ブロック

* 2021年度奈良ブロックオンライン聖書講座。

テーマ:すべてのいのちを守るため ~コロナ時代を生きる信仰~ (全3回)

講師:大塚司教様

第1回配信/7月10日(土) 第2回配信/8月14日(土) 第3回配信/9月11日(土)

奈良ブロックホームページ・京都司教区ホームページから視聴ください。

※配信済の講座は10月11日までなら、いつでも視聴できます。

※10月8日以降、希望者にDVD(全3回収録)を、各地区長を通じて回覧します。

※視聴されたご感想、ご意見がありましたら、地区長か実行委員まで。(9月末まで)

大和高田教会

* 奈良県のコロナ感染者数は減少傾向にありますが引き続き教会は『いのちを守る』ことを優先し、主日、平日のミサを当面の間 中止いたします。

※感染防止の為、教会は閉鎖されております。ご理解ください。

* 9月の『聖書と典礼』『教区時報』『柳本神父様のお説教』などを渡り廊下のBOXに置いています。ご都合のつくときに取りにお越しください。

* 9月5日(日)チャン クオック トゥアンさんとゴ ティ ラン オアンさんの結婚式がありました。お二人の幸せをお祈りください。

あなたはわたしを何者だというのか

今日の福音は、耳が聞こえず舌の回らない人をいやされたという先週の奇跡の出来事から少し先の箇所です。今回の内容は奇跡ではなく、イエスと弟子たちの中で交わされる「イエスは何者か」という問答と、受難の予告です。マルコの福音では最初の受難予告なので、ここからエルサレムにおける受難への道が始まる分岐点ともいえる箇所です。

イエスは弟子たちに、「人々は、わたしのことを何者だと言っているか」と尋ねられます。「洗礼者ヨハネ」「エリア」「預言者の一人」という答えが返ってきますが、さらに「それでは、あなたがたは何者だというのか」と問われます。

わたしたちは、人から「イエスとは何者か」と聞かれたときに、正しい答えをしなければいけないと思いがちです。それでインターネットで調べた内容を答える、または「要理の本にはこう書いてあります」「〇〇神父さんはこう説明されています」と答えてしまうことがあります。けれども、その人は「あなたはどう思うか」を聞きたいのです。

イエスも弟子たちがどう思っているかを自分の言葉で聞きたかったのだと思います。それで、ペトロは「あなたはメシアです」と答えました。それは正しい答えでしたが、ペトロにとって「メシア」はこの世でイスラエルの王となる者であるという期待を込めた答えでした。そのため、イエスが権力者から排斥されて殺されてしまうようなことは受け入れられなかったのでしょう。ほかの弟子たちも同じ思いだったと思われるのですが、正直者のペトロはその思いを直接イエスにぶつけたのです。

それにしても「サタン、引き下がれ」とは厳しい言葉です。ペトロが悪魔だと言われているようです。しかし、「サタン」とは悪魔というよりも、マタイ 16 章でイエスが言われているように「神の邪魔をする者」ということです。弟子たちも不安になったのだと思いますが、受難の否定は自分たちの願いを優先して神の計画を邪魔することでした。

イエスはペトロのことを断罪されたのではなく、神の計画を邪魔せずに受け入れるように促されたのです。ほかの弟子たちが心の中で考えていたことを、ペトロは正直に口に出すことによって、受難の意味についてイエスから教えをいただくことができたのです。

イエスは受難の予告のあと、「自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」と言われます。イエスの受難につながる言葉ですが、大切なのは「自分の十字架」というところです。わたしたちは人生においてさまざまな重荷を負っています。とくに今は、コロナ禍という人類共通の重荷もあります。それらを自分に課せられたものとして、しっかりと受け止め、イエスの助けに信頼して歩むこと、それが自分の十字架を背負うことです。

わたしたちもペトロのように思い違いをしているとき、神の思いを邪魔してしまっているときがあります。けれども、そのような気持ちを素直にぶつければ、イエスはそれを受け止め、わたしの十字架に手を添えて、方向修正をしてくださるのです。（柳本神父）